

伝笑鳩 393号 (2022年7月)

をお楽しみ下さい



2022年6月吉日 変集鳥 野本浩一

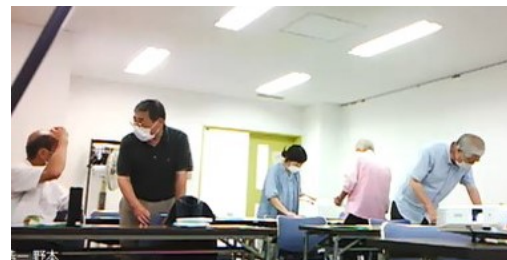
6月例会は22日(水)にハイブリッド形式(リアル+ZOOM)で実施しました。場所は千代田スポーツセンター7階第2集会室です。

今月は2人のゲストがZOOMとリアルに参加です。
 ページ下 ZOOMには 伝笑鳩393号巻頭頁に登場の土屋一秋氏に顔出し頂き、400号・500号に向けての決意表明を頂きました。
 リアルには読売新聞編集局シニア記者の小野秀夫さんが参加です。小野さんは「おのみん」(日本語アーティスト)として活躍中。ジョークサロンメンバーの言葉遊びを笑々楽しんで貰いました。記念として変集鳥から「ON099」ゲームを贈呈致しました。笑々興奮するゲームです。次頁では先月ZOOM参加の読売新聞・伊藤編集委員の「言の葉巡り」を笑介させて頂きます。



前列左から
 三浦、柴本、曾田、小野、佐藤重剛、
 後列左から
 東社長、高木、阿部、尾垣(吉永こ百合)小宮、小島(こじままじこ)、平井大鳥羽、芝崎、野本

ZOOM : 左上から 塩瀬、土屋一秋、片岡、三浦(例会から)
 左下から 彌永、桑原、杉浦、小野秀夫(例会から) + 例会会場(例会から)



* “ジョークサロン”のHPは、現在はふたつあります。
 リニューアルした新しいホームページ <http://www.newjokesalon.com>
 これまでの古いホームページ <http://www.jokesalon.com/>
 互いにリンクしてますのでどちらからでも楽しんでもらえます
 これからもどうぞよろしくお願いいたします。

言の葉 巡り

編集委員
伊藤剛寛

悪口機能は「ランクづけ」

今ならパワハラだろう。

「イタチにも劣る」「大うそつき」「バカなやつ」「顔はふわふわとして」。

鎌倉時代の歴史書「吾妻鏡」を讀んでいて(現代語訳です)、罵詈雑言が目にとまった。源頼朝が、京で勝手に任官した家臣20人ほどを、書状で非難している。動物と比べたり、体の特徴に言及したりと悪口の限

り。NHK大河ドラマの俳優も頭に浮かび、つい、今と結びつけてしまった。

悪口は多面的だ。時代や場面、当事者の関係などによってとらえ方は変わる。悪口を言い合う祭りもある。上方落語「野崎まいり」では、参拝者が軽妙にののしり合う場面が有名。「コミニケーション」の一種となったり、ストレス解消につながったりもする。

「悪口の中心的な機能は、誰かを自分より低く位置づけるランクづけ」。今年刊行された「悪い言語哲学入門」(和泉悠著、ちくま新書)がこう喝破し、話題となっている。自分の優位を誇示する「マウンティング」と似ているかもしれない。

「バカ」などと相手をののしることは、本来平等であるべきなのに、不当な序列関係を作り出す働きがあるという。「あなたは私より下」と。

なるほど。自分も含めてだが、人をそしる時の心の

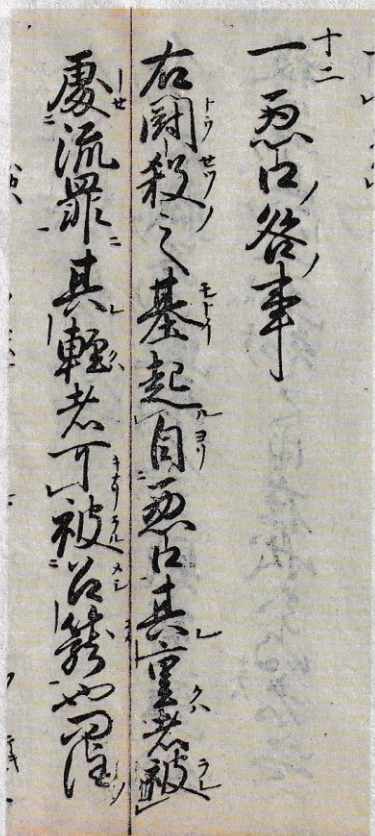
動きに思い当たる人もいるのではないだろうか。

SNSの広がりや、悪口はより過激になったり、陰湿になったりした。誹謗中傷を防ぐために、先頃、法律が厳罰化されたばかりだ。

大河ドラマにも登場する鎌倉幕府3代執権・北条泰時が中心となって制定した法が「御成敗式目」である。その中に、悪口を禁じる条文がある。けんかによる殺人は悪口が原因で起きる、悪質なものには流罪にすると

いう。

約800年前にも、法で取り締まられたやっかいな存在。信頼関係があれば悪口は軽口になるともいうが、見極めを誤るケースも時々見てきた。自制を心がけて、距離を置くに限るだろう。



十二 一悪口は、終事
右 罰殺之 基起 自 一悪口 其 宜 老 被
御成敗式目十二 条は、悪口の罪について示している(国立公文書館所蔵)

◆ 言葉にまつわる話題を月1回紹介します。

ジョークサロンは お互いが 作品披露して 研鑽中です。

悪口を言うことはなく、それぞれの作品を楽しんで 和気あいあい楽しんでます。